

柘植地域

まちづくりだより

第322号

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)



発行日

令和七(2025)年十月三十一日
(金)
電話 四五一八八〇 FAX 四五八八八三
〒五一九一四〇二

柘植地域俳句コーナー
弦月や
里は灯火を
点点と
浜地 和恵

『伊賀市上下水道施設(ゆめが丘浄水場)』見学会

【生活環境部会】

10月15日(水)午前10時からゆめが丘に在る伊賀市の上下水道施設(ゆめが丘浄水場)の施設見学会を行いました ゆめが丘



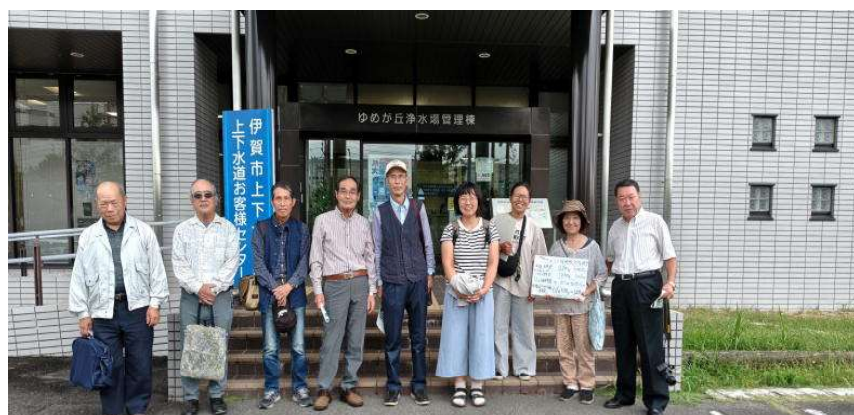
浄水場は、「川上ダム」を補助水源とする三重県営伊賀水道用水供給事業の根幹施設と位置付けた西部広域水道整備計画へ平成10(1998)年3月策定に依り平成21(2009)年3月に完成し、同年



4月より伊賀市に水道用水の供給を開始した施設で伊賀市上下水道部が運営管理を行っています。

伊賀地域は、小規模な水道や簡易水道が多く老朽化施設の保守管理の問題や小規模水源の水質汚染・枯渇化等が懸念されています。また地域内で地表水や地下水に拠る

新たな水源の確保が困難な状況と為っており、此様な課題を改善する為にゆめが丘浄水場が建設されました。当日の施設見学会には部会員他計10名が参加木津川の水を取水して



濾過・浄水処理後、水道水が供給されるまでの計9箇所の主要工程を見学。その後、実験室にて実際に木津川で取水した水を濾過した後、滅菌剤(プールの消毒にも使用する次亜塩素酸ナトリウム「塩素」)を注入

し飲み水が出来上がる簡易実験を体験。(中段写真はその様子)水道施設課中井課長曰く「今夏の渇水で水道水の供給が危機的状況に為り川上ダムの恩恵が非常に顕著でした。」と話された次第です。

『やまなみ文化祭』

10月13日(祭日・スポーツの日)西柘植地区市民センター(ふるさと会館いが)小ホールに於いて開催されました。

当日の出演は、ギター・マンドリンクラブ・たんぽぽ、オカリナサークル・トトロ、イガフラサークル、いがまちふるさと音頭保存会、コーラス・ユー、3B体操、体操タイム・のんびりやさしい体操の9団体。市長、支所長、まち協会長等々も見学され盛況でした。



右端 やまなみ文化協会会長・岡島千秋さん

令和七年度「しぐれ忌」のご案内

山出区では、芭蕉さんの遺徳を偲び、毎年十一月十二日に「しぐれ忌」を開催し、その偉業を顕彰しています。

【開催日時】十一月十二日「水」九時半開会

【会場】 萬壽寺(伊賀市柘植町山出)

午前九時半より、公益財団法人「芭蕉翁顕彰会」主催で、コーラス「ユー」の方々による芭蕉讃歌の合唱、開式のことば、顕彰のことば、法要、墓参、献花と続きます。

午前十時二十分からは山出区しぐれ忌協賛事業実行委員会主催による記念講演を開催します。(閉会は十一時三十分の予定です。)

【演題】『小説の中に生きる芭蕉と寿貞』
【講師】福田和幸さん(伊賀文学振興会代表)



本堂桃青殿では、伊賀市主催「芭蕉祭」に於ける「芭蕉翁献詠俳句」特選句の掲示。境内では、山出区有志による「菊花・寄せ植え展」開催、令和六年度しぐれ忌当日句の掲示、女性部による甘酒のもてなし、区民有志による野菜販売もおこないます。

当日句の俳句募集もしておりますので皆様のお越しをお待ちしております。

【山出区しぐれ忌協賛事業実行委員会】

『収穫の秋』

健康体操教室【講師】亀井裕子

柘植町の有志三軒が、さつま芋・栗・柿の秋の味覚を地域の子ども達にその収穫を楽しんでもらいました。

十月十一日(土)小雨降る曇天の午後から地域の子ども六人とその保護者四人の計十人が芋掘りに現地集合しました。先ず、提供者の玄関で、手作りのおはぎとお茶の暖かい接待を致しました。

今年は猛暑で野菜は不作でしたが、サツマイモは優秀に育っていました。大きな芋に歓声をあげながら、スコップを使って傷の付かない様丁寧に収穫しました。芋掘りの感想を子どもに聞くと「めっちゃ取れて嬉しかった」と喜びを伝えてくれた八歳の男児が「腰が痛かった」と言ったところ、大人は「もうその年から腰が痛いのか?」と大爆笑でした。



次は何十年も大切に育てた栗の木を持つ提供者の栗林を目指して移動開始。子ども達が楽しそうに田んぼの中を歩く無心な姿は自然の中にとけ込んで美しい情景でした。到着すると、落下した栗が待っていました。初めて見るイガをハサミでつかみ雨靴で踏んだり、歩き回ってはひと粒ひと粒を夢中になり収穫しました。その時、突然イガが一個落ちて来たものの人の頭には当たらずホツとし、アツという間に持参した袋や、バケツが一杯になりました。

一度出発地点に戻り、栗を置いて柿を収穫する為の高枝バサミと又バケツを持った子ども達の弾んだ声が大和街道に賑やかに響きました。今年には柿が大豊作でたわわにぶら下がっていましたが、高枝バサミの使い方を教えてもらうとドンドン落とせてポタポタと地面に落ちた



柿を拾い集めました。バケツの中はすぐ一杯になり全員感動の笑顔が溢れました。こうして本日はケガも事故もなく無事終了しました。

このたびは、地元三軒のご厚意により、芋・栗・柿の「秋の収穫」の喜びを味わえ、一人では持ちきれない程の子ども達へのプレゼントに感謝です。学校ではなかなか体験出来ない自然にふれ合う楽しくて美味しい野外活動でした。

『さつま芋 笑顔でかざす 子らの秋』

【岩田 泰徳】

『国際交流フェスタ』

2025

10月5日(日)伊賀市国際交流フェスタがJAいがふるさと・とれたて市ひざっこ前駐車場に於いて開催されました。

ステージでは、南米音楽やカポエイラ、エイサー、獅子舞などの演舞／ブースではパトカーや消防車両等が展示され、あそび



コーナーでは、輪投げ・スマイル射的、木のおもちやなどが並びました。また、屋台では肉まん・牛串・フォー・チキンカレー他にも外国の料理や民芸品の販売もありました。スタンプラリーでは、スタンプを集めて伊賀米や特産品などが当たる抽選券を配布。当日先着300人にちよっぴり伊賀米のプレゼントが有りました。

柘植から初参加のNUMBA(ズンバ・ラテン系の音楽とダンスを融合させて創作されたダンスフィットネスエクササイズ)

チームも突然の雨の中でも頑張って踊りきり好評を博していました。《上はその様子》

【主催】

伊賀市国際交流フェスタ実行委員会

【共催】

伊賀市

【後援】

伊賀市教育委員会



【今月のラン】

此の花の名前は、カトレア・ガスケリアナ (Cattleya Gaskelliana) 南米ベネズエラに自生する野生種。木々の高い所に着生していたり、岩場にも着生していたりします。カトレアはその華やかさからランの女王とも呼ばれています。花言葉…魔力、魅惑的

【上町・富井さん提供】

【11月12月度／行事・会議予定】

- 11月1日(土) 15時「収穫祭」設営作業
- 11月2日(日) 第2回「つげ地域収穫祭」
- 11月2日(日) 『忍者トレイルラン2025』
- 11月2日(日) 伊賀市総合防災訓練(花垣スポーツ広場)
- 11月5日(水) 地域自治推進会議(支所)
- 11月6日(木) 19時「健康福祉部会」
- 11月9日(日) 9時「伊賀分団想定訓練」
- 11月11日(火) 令和7年度第8回「役員会」
- 11月12日(水) 9時半「しぐれ忌」萬壽寺
- 11月12日(水) 19時半「生活環境部会」
- 11月13日(木) 18時「12区連絡協議会」
- 11月14日(金) 19時半「いがまち人権センター解放講座」
- 11月14日(金) 15時半サルビコネットワーク会議
- 11月15日(土) 人権啓発合同フィールドワーク(遠方)
- 11月20日(木) 19時「地域意見交換会2025」
- 11月22日(土) 9時「教育文化部会・講演会」
- 11月25日(火) 10時「柘植財産区議会」
- 11月25日(火) 19時「スポーツ推進委員会」
- 11月27日(木) 有機肥料製造施設見学会(生活環境部会)
- 12月1日(月) 13時「広報いが等配布日」
- 12月1日(月) 10時(水) 年末交通安全県民運動
- 12月3日(水) センター長会議(支所)
- 12月9日(火) 令和7年度第9回「役員会」
- 12月12日(金) 17時半「12区連絡協議会」
- 12月18日(木) 19時「令和7年度第3回「運営委員会」」
- 12月25日(木) 伊賀地区防犯協会伊賀支部会議(支所)
- 12月25日(木) 防犯パトロール・街頭防犯啓発運動
- 12月26日(金) 13時「広報いが等配布日(1月分)」

★☆☆ 編集後記 ☆☆☆

木枯らしや目刺しに残る海の色

【芥川龍之介】

砂の如き雲流れゆく朝の秋

【正岡子規】

あらたまる命を秋に数えけり

【飯田龍太】

山は暮れて野は黄昏の芒かな

【与謝蕪村】

散る芒寒くなるのが目に見ゆる

【小林一茶】

▼芒(すすき) VS セイタカアワダチソウ(北米原産)が日本に入ってきた当初は「アレロパシー効果」と云われる周囲の植物の成長を阻害する化学物質を出す「侵略的外来種」と忌み嫌われ、特に競合するススキは大きな影響を受け絶滅の危機と危ぶまれました。然し、その後ススキが耐性を獲得しススキの根茎からセイタカアワダチソウを駆逐する物質を出し生存競争に勝利。それどころかススキはセイタカアワダチソウの本来の生息地である北米に進出し、現地ではススキは「侵略的外来種」に指定され日本とは真逆の駆除対象植物と為っています。

あまた

▼錦秋の候、深まる秋は味覚の秋。数多の実り収穫の中でも、大振りの秋刀魚に大根おろしで戴く一献は格別です。大地の恵み豊漁に感謝。晩秋の風情を其処彼処に体感。秋深し隣は何をする人ぞ 【松尾芭蕉】

▼秋冷の候、皆様お身体御自愛下さい。(清水)